

こそあど言葉(指示語)

p.32 2-1 解説

1 こそあど言葉(指示語)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| ① こ…話し手が、自分の近くのことを指し示す。 | 例 <u>これ</u> がほしい。 |
| ② そ…話し手の相手の近くのことを指し示す。 | 例 <u>それ</u> を取って。 |
| ③ あ…話し手にとって、自分からも相手からも遠くのことを指し示す。 | 例 <u>あれ</u> は何ですか。 |
| ④ ど…話し手にとって、はっきりしないものを指し示す。 | 例 <u>どれ</u> が本物ですか。 |

2 こそあど言葉の種類

こそあど言葉は、指し示す内容や使い方によって、いくつかの種類がある。

	自分に近い (こ)	相手に近い (そ)	両方から遠い (あ)	はっきりしない (ど)
もの	これ この	それ その	あれ あの	どれ どの
場所	ここ	そこ	あそこ	どこ
方向	こちら こっち	そちら そっち	あちら あっち	どちら どっち
様子	こんな こう	そんな そう	あんな ああ	どんな どう